

遠賀

No.160 2020.11.10

おんがちょう
発行 / 福岡県遠賀町議会

議会だより



9月定例会

令和元年度決算

効率的な財政運営を！ ……2

決算特別委員会審査報告 ……4

7月、8月臨時会 ……7

常任・議会運営委員長、副委員長研修など ……8

遠賀川保育園秋の運動会

10月3日

秋晴れのもと、コロナ禍での運動会が行
われました。年少組（3才児）による、み
つばちダンスを踊り終わった姿です。

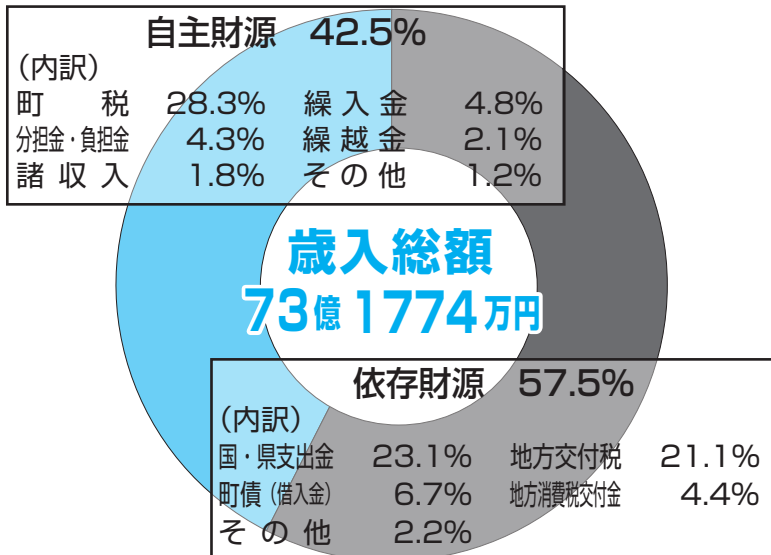
元気いっぱい楽しく踊りました。

9月定例会は、9月2日から18日まで17日間開催されました。

議案は、令和元年度一般会計と7つの特別会計等の決算、条例の制定、条例の改正、令和2年度一般会計と特別会計の補正予算など、21件が上程され、慎重審議を行いました。

財政運営を!

一般会計 歳入 (万円未満四捨五入)



町税の税目別収入状況 (万円未満四捨五入)

令和元年度 20億7380万円



監査委員要望事項

本年度の普通会計の決算状況を見ると、実質単年度収支は6768万円の赤字であり、実質収支比率は4.6%となっている。経常収支比率は92.7%と前年度比0.9ポイント低下、実質公債費比率は7.0%となっている。決算額の歳入は前年度比1.2%減、歳出は前年度比2.7%減となっており、決算規模は平成30年度に引き続き縮小している。

このような中、現在、世界的に猛威を振るっている新型コロナウイルス感染症の影響による経済活動の停滞により、町税等の自主財源及び地方交付税をはじめとする依存財源の減収が今後見込まれ、さらに厳しい財政状況となることが予想される。今後はこれらの状況も踏まえた上で、町税や分担金及び負担金等の自主財源の更なる収納率向上に努めていただくよう要望するものである。

令和元年度 各会計歳入歳出決算一覧

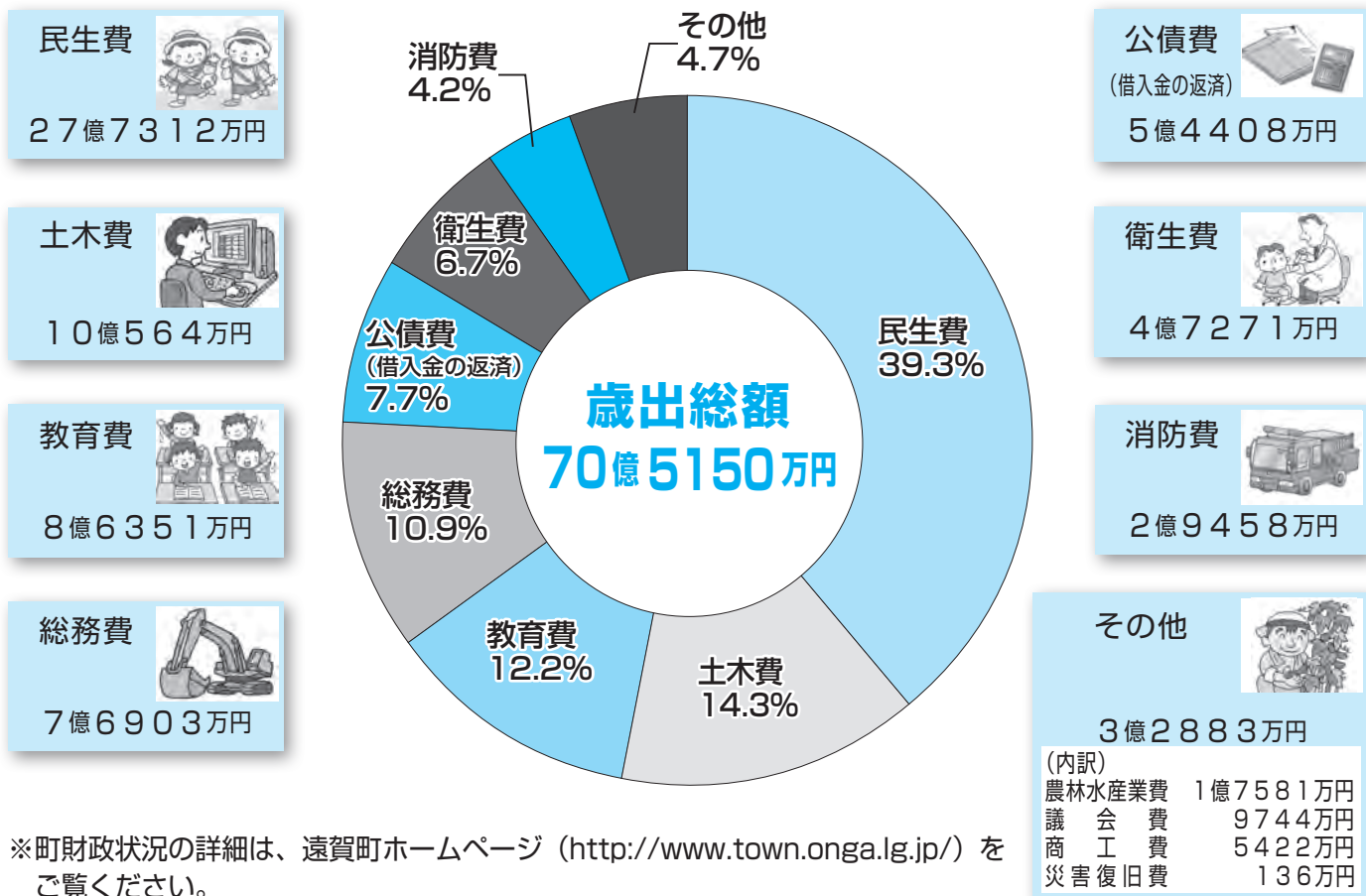
(万円未満四捨五入)

会計名	歳入	歳出	差引残額	
一般会計	73億1774万円	70億5150万円	2億6624万円	
下水道事業会計	(収益的) 5億9326万円	5億7937万円	1389万円	
	(資本的) 3億1106万円	4億4398万円	▲1億3292万円	
特別会計	国民健康保険事業	21億2210万円	21億1563万円	647万円
	住宅新築資金等貸付事業	924万円	895万円	29万円
	遠賀霊園事業	1億3294万円	1億2537万円	757万円
	地域下水道事業	228万円	228万円	0万円
	土地取得	307万円	301万円	6万円
	後期高齢者医療	3億5030万円	3億4876万円	154万円

コロナ禍の長期化を見据え、効率的な

一般会計 歳出

(万円未満四捨五入)



(内訳)

農林水産業費	1億7581万円
議会費	9744万円
商工費	5422万円
災害復旧費	136万円

令和元年度 決算認定

(一般会計・後期高齢者医療特別会計 賛成多数認定)
(その他すべて 全員一致認定)

普通建設事業費の減額で、決算規模は3年連続減少



●老良・上別府線改良事業 9756万円
老良・上別府線(2工区)の吉原川に架設する橋梁上部工と曲手排水機場内外の光ケーブル移設工事を行いました。



●遠賀南中学校トイレ改修工事等 9343万円
トイレ床のドライ化や和式便器の洋式化、多目的トイレの設置等トイレの全面改修工事を行い、生徒が使いやすいトイレに改修することができました。

令和元年度 決算特別委員会 審査報告

9月9日～11日

令和元年度一般会計と7つの特別会計等の歳入歳出決算について、各担当課から主要施策の事業実績を中心に概要聴取を行い、予算がどのように事務事業に反映されたかを審査しました。

委員長報告

歳入のポイントとして、「収入確保の努力が十分に なされているか」に着目し、具体的には「町税の徴収が効果的になされているか」「補助金を予算どおり確保できているか」「その他収入確保の努力が十分であったか」を審査しました。

歳出のポイントとして、「議決された予算が適正かつ効果的に執行され、また、どのように事業効果が上がったか」に着目し、具体的には「支出が適法適正になされているか」「不用額は妥当である



舛添 博孝
萩本 悦子
委員長 濱田 竜一
副委員長 平見 光司
織田 隆徳
中野 嘉徳

決算特別委員会 ～私たちが審査しました～

か「予算の流用や予備費の充当は適正か」「補助金の効果が上がっているか」を審査しました。

その結果、下記のような指摘をして、全議案を認定しました。

来年までに検討を！ 6項目の指摘

決算特別委員会から
町執行部へ

次の指摘事項は、町執行部で検討され、令和3年3月定例会で報告されます。

指摘1

防災士資格を町の補助金で取得した方の、活動状況の把握に努められたい。

指摘2

各選挙に対し若者の投票率の向上や投票しやすい投票所設置などの投票率向上の取り組みに努められたい。

指摘3

住居表示未実施地区に対し、実施に向けた積極的な取り組みに努められたい。

たい。

指摘4

待機児童解消のために必要な、保育士確保の新たな取り組みに努められたい。

指摘5

武道場の老朽化に対する安全対策に努められたい。



老朽化し、使用されていない武道場

指摘6

遠賀霊園事業特別会計において、遠賀霊園に永代供養墓や合葬墓などを取り入れる検討を早急に進められたい。

こんな質疑もありました

議員 資源ごみ回収は、低価格により回収業者が減っている。補助の実態と今後の対策は。

課長 本町が依頼している業者には、価格が以前とまではいかないが、収集を要請している。「価格は下がるが努力したい」と回答を得ている。



町婦人会が行っている資源ゴミ回収

議員 マイナンバーカードの取得目標は、**課長** 今年度は人口比30%の目標に対し、現在、3484枚で18・5%である。マイナンバーの

おかげで申請が増えている。

(注) マイナンバーカード キヤッシュレス決済を使って買い物やチャージの度に付与されるポイントのこと。これを得るにはマイナンバーカードを取得することが条件になる。



普及が望まれるマイナンバーカード

議員 老人クラブの解散について、どのように考えているか。

課長 老人クラブが事業としてやっている健康づくりや趣味、スポーツに楽しみがある老人クラブを目指して頂ければ、解散を防止できると考えている。

議員 自主活動である政治学級は公募していないが、どう考えているか。

議員 A L T（外国語指導助手）の時間が減った理由は。

課長 政治学級自体、活動方針はきちんとしている。公募の必要性があるのか、現状はどうか、投げかけながら活発にしていきたい。

課長 令和元年度から英語授業が実施され、臨時専門職員が入ってきたので合わせて配置したため、時間が減った。

議員 運転免許証自主返納者へコミュニティバスの無料チケットを配布しているが、タクシーチケットも検討してほしい。

議員 ひとり親世帯の医療費は高校まで無料だ。それ以外の医療も高校生まで自己負担なしにできないか。

課長 コミュニティバスの無料配布はバス乗車への道筋をつけるためだ。タクシーチケットは今後の検討課題と考える。

課長 子ども医療は中学まで無料だ。現在、子ども医療で拡大する予定はない。

議員 認知症カフェを3回実施したが、効果は。

課長 認知症に特化したカフェの内容は不十分だった。今後、カフェの目的、内容を共有して役割分担もはっきりして取り組みたい。効果としては、制度が周知できたことであり、48人が参加したので広がっていききたい。



コミュニティバス乗車券

令和2年度

一般会計補正予算

1億3574万円増額
(万円未満四捨五入)

(全員一致可決)

第7・8回目の補正予算は、1億3574万円を増額し、予算規模は104億3075万円になりました。

【主なもの】

学童保育事業費

421万円

新型コロナウイルス感染症対策として保育所にマスク、パーティション

CTを活用した授業のため、指導者用端末及び小学校5年生から中学校全校へのクラスに電子黒板を整備するもの。

工事請負費

422万円

等設備を委託し、保育所23カ所の水道を自動水栓化、および空気清浄器を購入するもの。

コロナ対策による避難所の換気施設（網戸設置）及び、公共的施設の水栓を自動化にするもの。

地域活性化商品券補助金

1500万円

プレミアム率25%の商品券の第2弾を発行するもの。

感染症対策・学習保障等支援事業補助金

650万円

学校再開に伴う感染症対策・学習保障等に係る各小・中学校の判断により必要と思われる物品等を購入するためのもの。

備品購入費

2946万円

オンライン学習でのI

予防接種料

1440万円

新型コロナウイルスと季節性インフルエンザが同時にまん延すると受診者の増加がみこまれ医療業務が圧迫される事から、優先度の高い高齢者や、子ども、妊婦、医療従事者等のインフルエンザ予防接種費用を補助するもの。

会場借上料

152万円

確定申告受付時に三密を防ぐため、中央公民館大ホールでの実施に伴う借上料を計上するもの。

人事案件

人権擁護委員

(全員一致適任)

任期満了に伴い、再度選任するもの。

筋田 初子 さん (上別府)

任期

令和3年1月1日から令和5年12月31日まで

教育委員会委員

(全員一致同意)

任期満了に伴い、再度選任するもの。

平田 多賀子 さん (東和苑)

任期

令和2年11月11日から令和6年11月10日まで

条例制定

町長等の損害賠償責任の一部の免責に関する条例の制定

(賛成多数可決)

平成29年に一部改正された地方自治法が令和2年4月1日に施行されたことから、住民訴訟において町長等が賠償責任を負うことになった場合、善意で、かつ、重大な過失がないときに限り、職責に応じた一定額以上の賠償が免除できるように条例を制定するもの。

条例改正

家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正

(全員一致可決)

国の基準が改正されたことに伴い、家庭的保育の連携施設の確保を不要にできる事項を追加するとともに、身体、精神又は環境上の理由により、

居宅訪問型保育の提供が受けられるよう改正を行うもの。

特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正

(全員一致可決)

国の基準が改正されたことに伴い、特定地域型保育における連携施設の確保を不要にできる事項を追加する改正を行うもの。

放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正

(全員一致可決)

国の基準が改正されたことに伴い、放課後児童支援員認定資格研修は、中核市の長が行う研修を修了した者でも従事できるように改正するもの。
適用は令和2年4月1日。

意見書

新型コロナウイルス感染症の影響に伴う地方財政の急速な悪化に対し地方財源の確保を求める意見書

(全員一致採択)

(関係機関に送付)

新型コロナウイルス感染症の拡大は、甚大な経済的・社会的影響をもたらしており、国民生活への不安が続いている中で、地方税・地方交付税等の一般財源の激減が避けがたくなっている。
地方自治体は、福祉・医療・教育・子育て、防災・減災、地方創生、地域経済活性化、雇用対策など喫緊の財政需要への対応をはじめ、長期化する感染症対策にも迫られる今後の地方財政は、かつてない厳しい状況になることが予想される。
よって、国においては、令和3年度地方財政対策及び地方税制改正に向け、

下記事項を確実に実現されるよう、強く要望する。

記

1. 地方の安定的な財政運営に必要な地方税、地方交付税等の一般財源総額を確保・充実すること。その際、臨時財政対策債が累積することのないよう、発行額の縮減に努めるとともに、償還財源を確保すること。
2. 地方交付税については、引き続き財源保障機能と財源調整機能が適切に発揮できるように、総額を確保すること。
3. 令和2年度の地方税収が大幅に減少することが予想されることから、万全の減収補填措置を講じるとともに、減収補填債の対象となる税目についても、地方消費税を含め弾力的に対応すること。
4. 財源の偏在性が小さく、税収が安定的な地方税法系の構築に努めるとともに、国税・地方税の政策税制については、積極的な整理合理化を図り、新設・拡充・継続にあたっては、有効性・緊急性等を厳格に判断すること。
5. 特に、固定資産税は、市町村の極めて重要な基幹税であり、制度の根幹を揺るがす見直しは、家屋・償却資産を含め、断じて行わないこと。また、新型コロナウイルス感染症緊急経済対策として講じられた特例措置は、本来国庫補助金等により対応すべきものであり、今回限りの措置として、期限の到来をもって確実に終了すること。

賛否が分かれた議案

(○：賛成 ▲：反対 欠：欠席)

議席番号		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13
会議名	議案名	萩本	中野	舛添	萩尾	二村	加藤	欠	田代	仲摩	濱田	平見	織田	仲野
9月定例会	町長等の損害賠償責任の一部の免責に関する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	▲	○	○	○	○	○
	令和元年度遠賀町一般会計歳入歳出決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○	▲	○	○	○	○	○
	令和元年度遠賀町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○	▲	○	○	○	○	○

※全員一致の議案は除いています。

7月 臨時会
7月15日開催

契約
(万円未満四捨五入)

小中学校児童生徒用端末
売買契約の締結

(全員一致可決)

児童生徒用端末を10
62台購入するもの。

▽入札の方法

指名競争入札

▽契約金額

4767万円

▽契約の相手方

株式会社麻生情報シス

テム飯塚事業所

▽納期

令和2年12月25日

専決処分の承認
(万円未満四捨五入)

(万円未満四捨五入)

専決第11号国民健康保険
税条例の一部改正

(全員一致承認)

新型コロナウイルス感

染症の影響で世帯の主たる
生計維持者が死亡、また
は重篤な傷病を負った

世帯や、世帯の主たる生
計維持者の収入減少が見
込まれる世帯は、申請に
よって全部又は一部につ
いて減免するもの。

令和2年度
一般会計補正予算
1億3608万円増額
(万円未満四捨五入)

(全員一致可決)

第6回目の補正予算は、
1億3608万円を増額
し、予算規模は102億
9500万円になりました。

【主なもの】

高齢者支援報償費

3560万円

65歳以上の高齢者に商
工会商品券50000円分
を配付し、配布手数料を
地区に交付するもの。

ひとり親世帯支援給付金

267万円

国の「ひとり親世帯臨
時特別給付金」は、第1
子は5万円、第2子以降

は1人3万円給付のため、
町が2万円上乗せし第2
子以降も1人につき5万
円を給付するもの。(ただ
し、令和2年6月分の児
童扶養手当の支援を受け
ている方に限る。)

備品購入費

450万円

不特定多数の人が通る
公共施設入口に体表温度
度をチェックするための
非接触型のサーマルカメ
ラ等を購入するもの。



現場玄関に設置したサーマルカメラ

新型コロナウイルス感染
症対策事業所支援金

2100万円

国の家賃支援給付金の
対象となる事業者に福岡

県独自の家賃軽減支援金
(給付率1/15)の追加
支援にあわせて、町独自
に給付率のかさ上げ(給
付率1/15)を実施し、
事業者の負担を2割まで
軽減するもの。

臨時子育て支援特別定額
給付金

1400万円

特別定額給付金が給付
されない4月28日から令
和3年4月1日までに生
まれた子で、出生日から
引き続き本町に住民登録
されている方を対象にそ
の保護者に対し現金10万
円を給付するもの。

地区公民館新型コロナウイルス
対策費補助金

1000万円

地区活動の拠点や災害
時の避難場所となる町内
25カ所の地区公民館にお
いて、新しい生活様式を
実践した住民活動を行う
ため必要な施設整備、備
品、消耗品、防災資機材

の費用を助成するもの。
飲食店応援マップ作成業
務委託料
131万円

緊急事態宣言解除後の
飲食店の営業再開および
客足の回復に向けて、飲

食店応援マップを作成し、
店の自慢の料理やコロナ
対策の状況などを掲載し、
安全安心な利用と店舗の
魅力発信につなげるもの。

▽入札の方法

指名競争入札

がんばれ学生！ おんが
メール便給付費

4166万円

新型コロナウイルス感
染症に対する不安を抱え
ながら、日々の生活や勉
学に励んでいる本町出身
の高校生(町外へ転出)

▽契約の相手方

株式会社麻生情報シス

および大学生等を応援す
るため、本町の特産品(夢
れんげ・赤しそドリンク
・菜種油等)とオリジナル
カード、町長の応援
メッセージをプレゼン
トするもの。

新型コロナウイルス感
染症に対する不安を抱え
ながら、日々の生活や勉
学に励んでいる本町出身
の高校生(町外へ転出)

おおよび大学生等を応援す
るため、本町の特産品(夢
れんげ・赤しそドリンク
・菜種油等)とオリジナル
カード、町長の応援
メッセージをプレゼン
トするもの。

新型コロナウイルス感
染症に対する不安を抱え
ながら、日々の生活や勉
学に励んでいる本町出身
の高校生(町外へ転出)

おおよび大学生等を応援す
るため、本町の特産品(夢
れんげ・赤しそドリンク
・菜種油等)とオリジナル
カード、町長の応援
メッセージをプレゼン
トするもの。

8月 臨時会
8月5日開催

契約
(万円未満四捨五入)

小中学校校内LAN機器
売買契約の締結について

(全員一致可決)

小中学校児童生徒一人
一台の端末整備に伴い、ネ

ットワークを整備するた
めの機器を調達するもの。

▽入札の方法

指名競争入札

▽契約金額

4166万円

▽契約の相手方

株式会社麻生情報シス

テム飯塚事業所

▽納期

令和2年12月末



整備予定のネットワーク機器

常任・議会運営
委員長、副委員長研修会

令和2年8月21日、福岡県岡崎町議会議長会主催の、常任・議会運営委員会の委員長、副委員長研修会が福岡市で開催され、本町から6人の議員が研修に参加しました。

今年度は新型コロナウイルス感染症の流行が長期化する中、感染拡大防止策をとって、講師席にはアクリル板を設置、参加者同士のスペースを十分に確保しての研修でした。研修は、元全国都道府



講師の内田一夫氏

県議会議長会の事務局次長の内田一夫氏を講師に「地方議会をめぐる諸問題と委員会の進め方につ

いて」という題で進められました。

議会は住民代表機関としての機能を住民から負託されており、公開の議会で熟議して議決する責任があります。特に今年はコロナ禍で議会が短縮される自治体もある中、あえて討議を重ね「予算措置は的確か」「その効果はどうか」「今後必要な施策は何か」を討議する時間を確保する必要がありますと説明されていました。

また、委員会については「本会議の下級審査機関であり、本会議で概要について審議したものを委員会で詳細かつ十分な審査を行う」という役割があることと話されました。委員会を円滑に進めるためには、委員長は法規則に精通すること、中立性と指導性を兼ね備える必要があることを改めて感じました。



議会ニュース

議場と第一、第二委員会室にアクリル板を設置しました。

9月定例会の前に、議場と第一委員会室、第二委員会室に、それぞれ卓上のアクリル板が設置されました。

この予算はコロナ関連対策費として、令和2年7月の臨時議会において成立しました。

コロナ禍が長期化する中、議員や職員の感染拡大防止策として、長時間室内で議論する議場や各委員会室の個人スペースをアクリル板で隔離することにより、それぞれが接触を避けることを目的

としたものです。

未だ新型コロナウイルス感染症が終息の気配を見せない中、私たち議会もしっかりと感染拡大防止の対策を取るとともに、個人としてもウィルスを「持ち込まない」「持ち出さない」ことに最大の注意を払って業務に取り組んでいきます。



アクリル板が設置された議場

【議会からのお知らせ】

9月定例会で予定されていた一般質問は、台風10号の対策のため、質問予定議員に了承の上中止しました。

次回の定例会は 12月です

詳しい日程は、11月下旬に遠賀町ホームページ (<http://www.town.onaga.lg.jp/>) でお知らせします。

本会議の様子は、以下の場所でライブ中継を行います。
遠賀町役場・遠賀町中央公民館・ふれあいの里センター・駅前サービスセンター
※遠賀町ホームページからも、視聴することができます。

あとながき

なかなか、新型コロナウイルス感染症が収まりません。早くワクチンができてほしいものです。

コロナに対する町独自の支援策も第5弾にもなりました。第1弾のいろんな施設への給付金やマスク、消毒液の配布に始まり、プレミアム商品券の発行、町内飲食店応援クーポン券やスタンプラリー事業、65歳以上の方に対しての商品券の配布、高齢者や妊婦及び医療従事者等のインフルエンザ予防接種費用の補助など、いろんな施策を行っています。

今後、コロナが収まらないままインフルエンザが流行したとしても、町民の生命と財産を守っていけるよう英知を結集して乗り越えていく所存です。

萩尾 修身

遠賀議会だより

発行責任者

議長

仲野 新二郎

議会広報

常任委員会

委員長

田代 順二

副委員長

仲摩 靖浩

委員

舛添 博孝

萩尾 修身

二村 誠司

平見 光司